

日田市地域林業成長産業化地域創出モデル事業

平成30年度事業の概要

事業主体 日田市
受託者 アジア航測株式会社

平成30年度事業計画（案）

①大径材の需要促進と地域の主力である無垢材の供給強化

⇒川上側では整備したデータを基にICT技術による基盤整備。
データを最大限活用し、労働生産性を向上。

⇒川中・川下側では製材所へのヒアリング調査を継続して
実施するほか、マーケットインの立場からエンドユーザを
対象としたヒアリングを実施。新しい市場への可能性を探る。

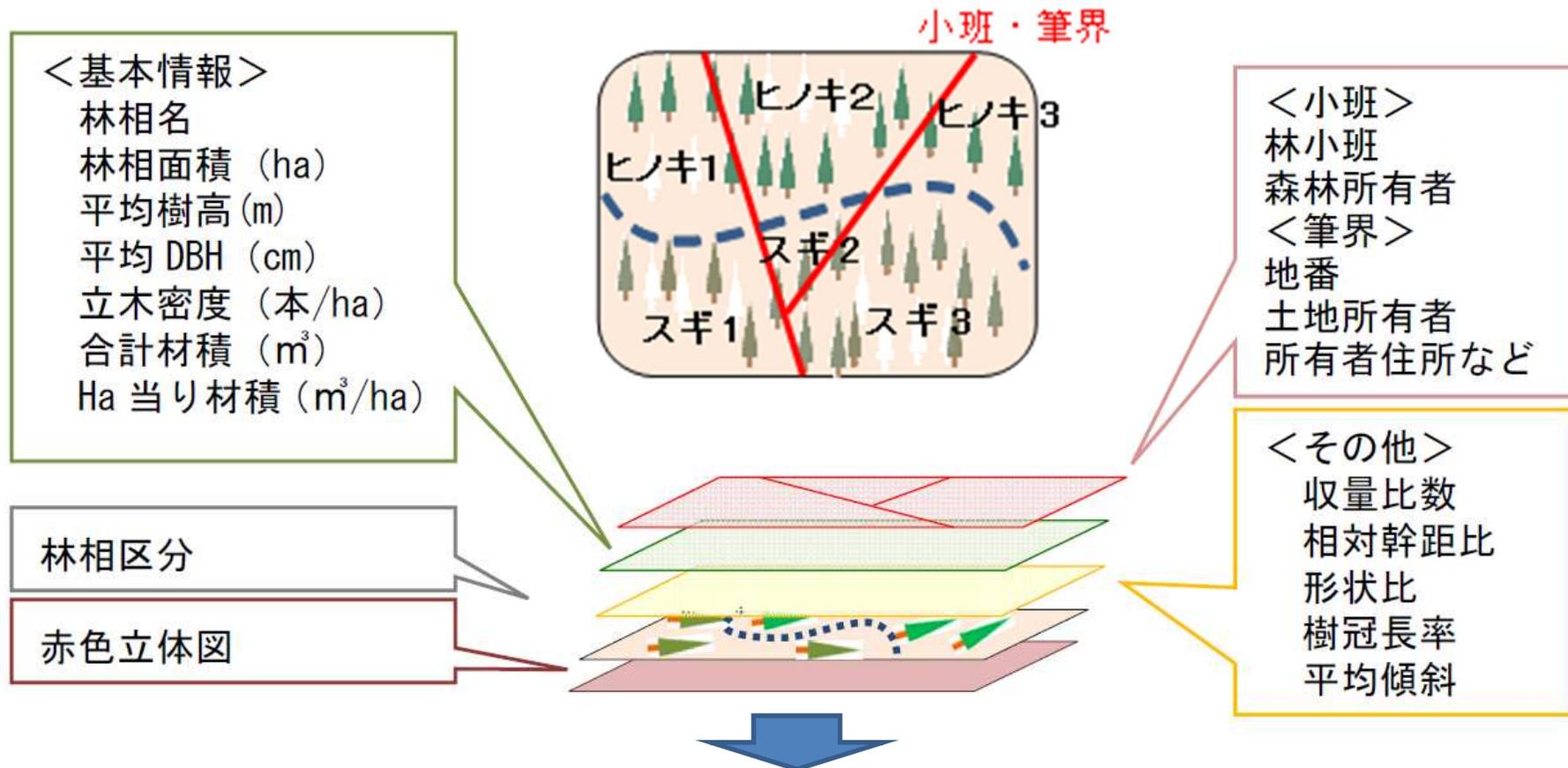
②再造林促進のための枝条等の林地残材処理及び新規参入による担い手確保

⇒バイオマス利用に取り組む事例地視察。

⇒市有林内で皆伐し、林地残材についてはチップ化まで行う
一貫作業を実施。去年のノウハウを継承しつつ引き続き
工程調査を実施する。

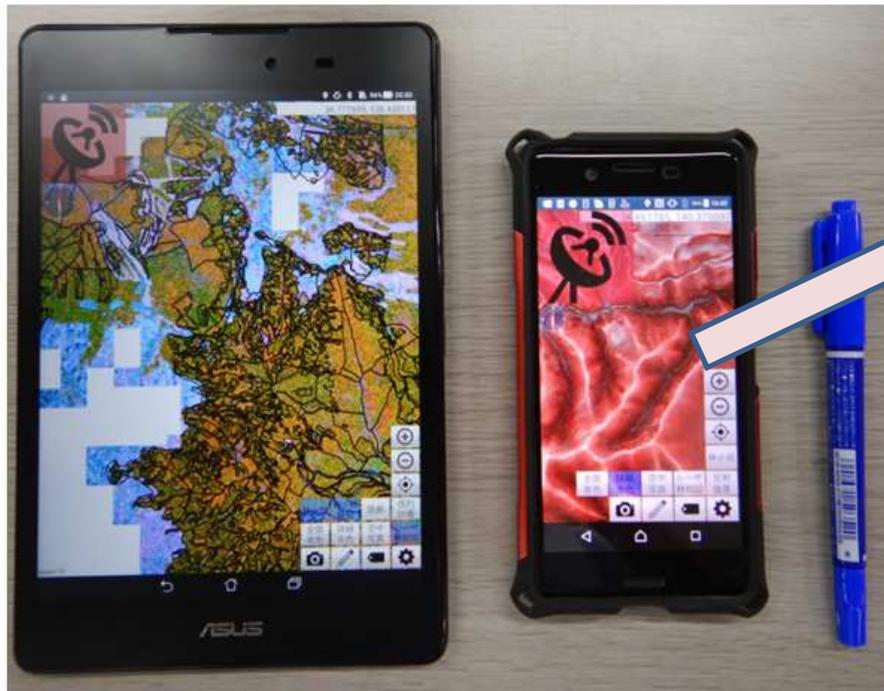
ICT技術による基盤整備①

森林管理に必要な情報を一元化し、デジタルデバイスに格納
森林管理の大幅な業務効率化を目指す。

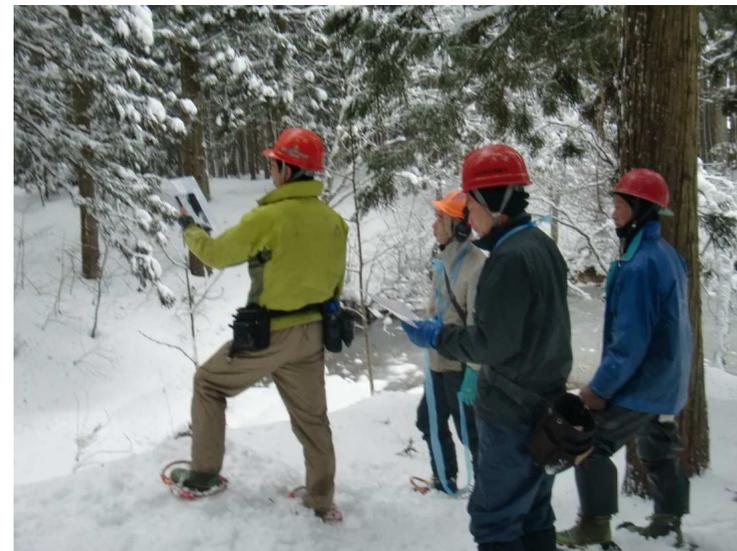


タブレット・スマホ端末にデータを格納する

ICT技術による基盤整備②



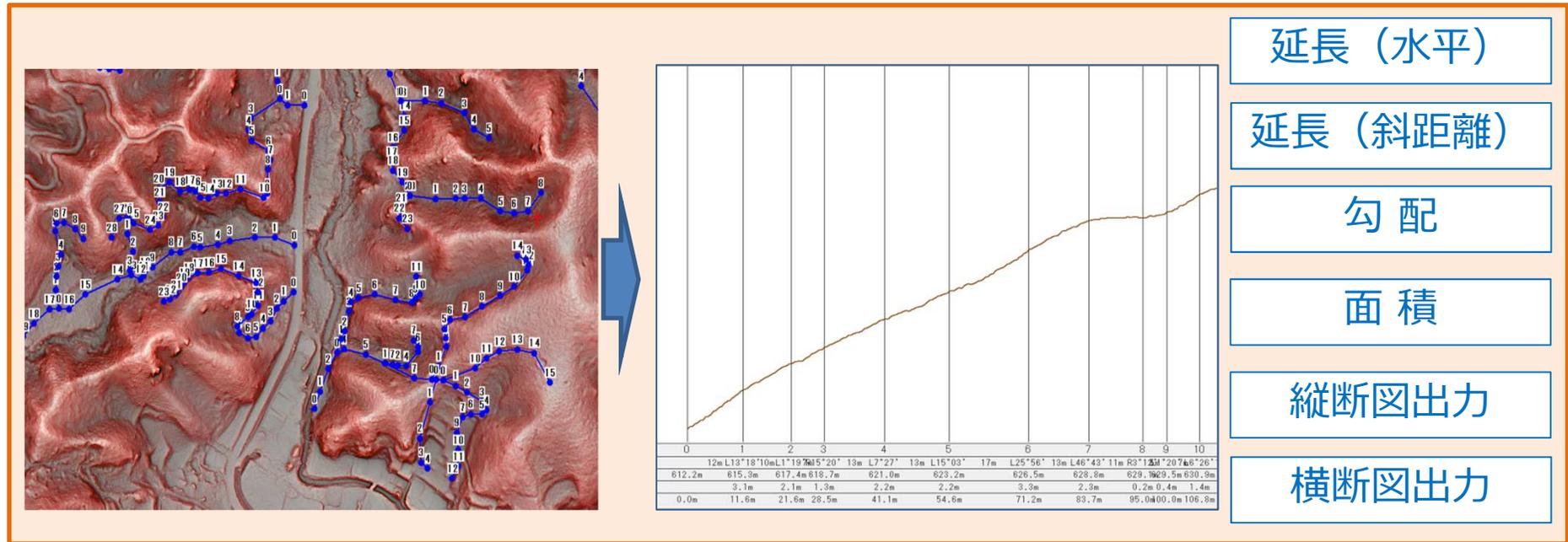
デジタルオルソ（航空写真）
赤色立体地図・林相図・地籍などを
現地で確認できる。



現地での境界確認・作業範囲の確認など業務効率化に効果

ICT技術による基盤整備③

詳細微地形図から設計に必要な延長や勾配を計測・出力可能とするよう整備する。



日田市有林で計画する皆伐地（2ha～3ha）の森林資源解析を実施するとともに、地形データを用いた搬出計画の立案を行う。例えば作業道などでは縦断面勾配を把握したのち、最も効率的な路網配置及び延長を検討する（チップ化工程調査も併せて実施）。

大径材利用工場へのヒアリング調査

昨年度に続き、継続してヒアリング調査を実施。
日田市内において大径材製材に取り組む製材所のほか、
九州内で大径材に取り組む大型製材所もヒアリングを実施する。
なお、ヒアリングは赤堀楠雄氏と共同で実施する。

製材所ヒアリング候補（九州内）

5～6社を選定中

氏名（敬称略）	協力内容
赤堀 楠雄	林材ライターとして木材利用にかかる著書を多数執筆。当地域を含む、全国の製材工場および木材流通に精通している。

エンドユーザを対象としたマーケティング調査①

現状ではプロダクトアウト（生産者が主体となった製品生産）からマーケットイン（市場ニーズを基にした製品生産）の形態にはなっていない。



今後の業界の展望を考慮した場合、**マーケットイン手法の導入と新たな市場の開拓は必要。**



新たな市場対象地として**首都圏(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)**を想定して、資料およびヒアリングを主としてマーケティング調査を実施し、これら大消費地における国産無垢材および大径材の使用拡大の可能性を探るものとする。

ヒアリングは主として工務店を想定するが、業者の選定および資料の調査については、地域材等普及促進協議会の協力を頂き実施する。

上記協議会は（一社）JBN・全国工務店協会、（一社）国産材製材協会、（一社）林業経営者協会、日本木材青壮年団体連合会などが参加する国産材普及のための協議会である。

エンドユーザを対象としたマーケティング調査②

氏名（敬称略）	協力内容
田邊 喜範	滋賀県で工務店を営むほか、地域材等普及促進協議会にて会長を務める。 本業務では首都圏にかかる無垢材・大径材流通にかかる動向調査についてアドバイスを頂く。
谷知 大輔	株式会社グリーンマム及びNPO法人森林復興支援に所属し、首都圏を中心とした内装材利用にかかる商品開発及び木材流通業務に従事。 本業務では首都圏にかかる動向調査についてヒアリングを実施頂く。

各氏にはヒアリングの結果を基に来年3月に協議会にてご報告を頂き、
広く日田市内関係者と議論を行う。

バイオマス利用に取り組む先進地視察

大径材利用およびバイオマス利用の先進地視察として
佐伯広域森林組合を12月～1月を目途に視察を実施する。
(本視察は再造林協議会第2回現地検討を兼ねる)

佐伯広域森林組合
Saiki Forest Owners' Co-operative Association



佐伯広域森林組合ホームページより

皆伐から枝条チップ化までの一貫作業の実施と検証

○今年度皆伐予定の市有林（2～3ha）の資源解析を実施。

⇒実際の工程調査を実施し
レーザーデータと併せて
バイオマス材の発生量を計測する。

⇒前回調査では機械の工程調査のみ
だったことから、機械の組み合わせ
材の設置個所なども考慮した
より良い一貫作業の実施の検討

⇒前回と同じく、工程調査のアドバイスとして鹿児島大学岡教授の
アドバイスを頂く。



学識経験者	協力内容
岡 勝	鹿児島大学農学部教授。森林整備にかかる各種工程調査に精通しており、過年度業務においてもチップの工程調査についてアドバイスを頂いた。本業務では引き続きチップの工程調査について、様々な視点から調査を実施、アドバイスを頂く。

各協議会の実施（予定）

協議会名	開催時期	内容
大径材協議会	第1回（10月下旬）	1）今年度業務の内容説明・承認 2）全国工務店協会様によるご講演
	第2回（12月～1月）	現地検討会形式で実施する。 先進地林業地の視察 （佐伯広域森林組合を予定）
	第3回（3月上旬）	1）今年度業務の報告 2）九州管内製材所ヒアリングおよび首都圏マーケティング調査については赤堀氏、田邊氏、谷知氏より結果報告と考察をご講演頂く。
再造林協議会	第1回（10月下旬）	今年度業務の内容説明・承認 （大径材協議会（第1回））と同一）
	第2回（12月上旬）	現地検討会形式で実施する。 （大径材協議会（第2回）と同一）